א ור וו וו nfomation Technology Infomation Technology tion Technology Information Technology Information Technology

clogyInformation Technology Information Technology Information Technology

tion Technology Information Technology Information Technology Information Technology Technology Information Technology Information Technology Information Technology Information Technology

サルティングに入る前作業

それが故に、実際のコン

としてヒアリングの段階を





日出 晴夫 中小企業診断士。阿南市在住 http://www.facebook.com/haruo.hinode

だ身体が炬燵モードから抜 剥きつつTV鑑賞をすると しました。そのせいか、未 いう頗る健康的な時を過ご 矢倉炬燵で温州蜜柑の皮を ジム通いもサボ

うです。

私自身、

今年の正月は

通りの風情になってきたよ たものですが、期待と予想

経営者の意向が、今ひとつ う企業もありました。また、 相談を含む多くの事案に係 せられることになるでしょ 不自然な事案もあったもの わって参りました。正直な 私自身、 時、 既に遅し」とい かって、

ます。 クシート化し標準化しまし です (次図)。 常に設けることとしており 一程を図式化してきたもの 次図の下の部分のワー 以前より、これらの 対話の部分をワー

皆さん、御自愛のほど。 をひたすら歩んでおります。 りがちとなり、『オヤジの道』

HAL'Sメソッドの話

しい時期に差し掛かってい 日本の四季で最も寒さの厳

寒い日々が続

いています。

炬燵と蜜柑

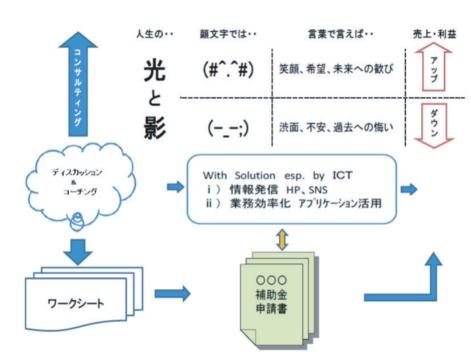
くでしょう。 様々な施策が実行されて行 国会を通過しました。今後、 平成二八年度補正予算も

は春のような気候に戸惑っ 暖冬と言われ、年末・年始 がお過ごしでしょうか? ます。読者の皆さんはいか

多くの施策活用の相談が寄 私ども診断士にも

> う反面、「見落とし」とい ということは、標準化とい うリスクも伴います。 のヒアリングの工程は残し 対話の部分を書式化する 一部

請書までの部分が該当しま クシートから○○補助金申



手順 I; 仮説を立てます。

仮 コンサルティング機能が素晴らしい美容・健康・食育コミュ 説 ニティーを作ります。 仮説(想い)を言葉で表して下さい。以後の作業がスムーズに進みます。



手順Ⅱ; 気付き、印象、想い・・・を整理表にまとめます。

いつ(頃)	気づき、impression	←外部要因	←内部要因
H24.2	在庫が残った。社長渋面		計画的仕入不足。 担当者任せ。チェックしていない。
H24.3	顧客の笑顔があった	他店では品不足	見込み仕入していた。運が良かっ た。
H24.4	従業員が怒って辞めた	人手不足	教育が出来ていなかった。待遇に問 題が?
???	拘り商品なのに、何故か 売れない。	顧客が追い付いていないの か?	いろいろと調査しているのに・・・?? 顧客志向が無いのか?
H24.6	顧客の笑顔があった。感 激!		従業員○○の接客は素晴らしい。
H25.8	リピータが減った。あの客 が来てくれない(';')	近隣に競合店出店	価格設定が高すぎる。
H24.8	急に若い顧客が増えた が、その後低減。	地域のイベント開催。	イベントがある時はバタバタ。
???	長話をする顧客が増えた。 忙しいが楽しい。		私に、人的魅力があるのかも?
???	待合椅子が足りない時が ある。		店が狭い、店舗レイアウルに問題があり そう。
???	高齢者よりのクレームあり。	顧客の高齢化。経営者も高 齢化?	トイレが和式。



手順Ⅲ; SWOTに落とし込みます。

ь	ı	÷	n
7	r		p

			機会	脅威
			・地域のイベントが集客効果あり。・男性顧客も増えつつある。	・競合店が増えた
内部	強み	・私に人的魅力 ・従業員にも逸材あり	・顧客密着度を高め「仲良しコミュニティ化」 を図る。 ・一元顧客を「私の魅力」でル・タニ!	・サービスの差別化 *価格競争は避けたい。
	弱み		・可能ならば、設備投資。従業員のレベルを機械化で補う。 ・従業員の教育訓練システム整備	・拘り商品は徒に追及しない。